

プレスリリース



2016年 1月 19日

国立研究開発法人海洋研究開発機構

地球深部探査船「ちきゅう」のドリルパイプの脱落について（速報）

国立研究開発法人海洋研究開発機構（理事長 平 朝彦）の地球深部探査船「ちきゅう」は、静岡県御前崎沖で定期検査工事後の海上試験を行っていたところ、海底掘削用のドリルパイプ（約1,400m分）が、水深約3,600mの海底に脱落するトラブルが発生しましたのでお知らせします。

記

- 1.発生日時： 平成28年1月16日（土）02時09分頃
- 2.発生場所： 静岡県御前崎沖南南東約51.8km付近（[図1](#)）
（北緯34度11.0分、東経138度29.0分、水深約3,600m）
- 3.状況： 地球深部探査船「ちきゅう」は、平成27年9月から実施の定期検査工事において換装した、掘削制御システム（DCIS : Drilling Control Instrumentation System）の動作を確認するため、海上試験を実施していました。本船からの操作により、海底掘削用のドリルパイプ（[図2](#)）を降下させ、回転させる試験を実施していたところ、ドリルフロア近辺でドリルパイプが破断し、約1,400m分が水深約3,600mの海底に落下しました。人的被害、船体損傷、および第三者への影響はありません。脱落の詳細な原因については、現在、調査中です。



図1 発生場所

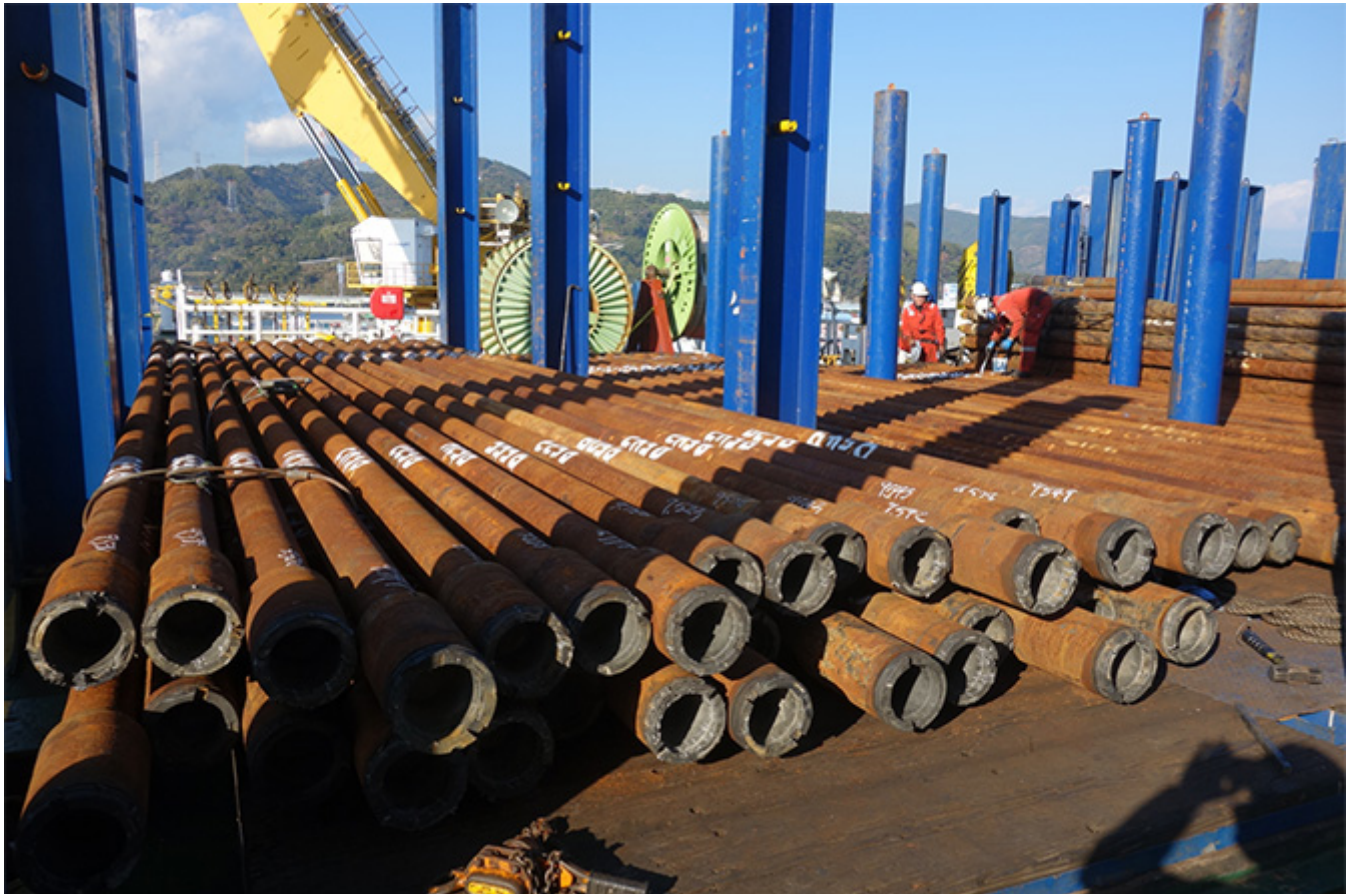


図2 脱落したものと同型のドリルパイプ

国立研究開発法人海洋研究開発機構

(本内容について)

地球深部探査センター 企画調整室長 花田 晶公

(報道担当)

広報部 報道課長 松井 宏泰